

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ
令和5年度 第3号 R5.6.27(火)



藤井寺市立第三中学校
校長 奥 雅 美

「愛」「優しさ」のあふれる修学旅行

3年生は5月24日(水)から26日(金)の2泊3日で鳥取方面に修学旅行に行ってきました。ホームページには写真がたくさん掲載されています。先にそちらをご覧ください。と、この通信の内容がよくお分かりいただけると思います。

バス移動の長い行程で、バスレクリエーションのビデオは年々進化しており、素晴らしい出来でした。バス車内はそれはもう爆笑の渦でした。生徒だけでなく先生も登場し、生徒と先生の距離の近さが垣間見えるものでした。ビデオが終わると自然と拍手。いい雰囲気です。

天気が良すぎると熱中症が懸念されるころでしたが、ちょうど良い曇り空で、鳥取砂丘のアクティビティは最高でした。特にサンドボードやそりは砂丘でないと体験できないということもあり、砂の急勾配をキャッキヤと言いながら滑り降りていたのは印象的です。近くの大きな池ではサーフボードのような板の上に立ってパドルでこぐSUP(サップ)やカヤックも盛り上がっていたようです。これらのアクティビティを半日ずつ、境港で水木しげるロードの散策、最後は姫路セントラルパークでまさに乗り放題を満喫しました。

夜は2夜連続のレクリエーション大会。どのクラス・有志もクオリティーが高く、先生を舞台に上げたがります。実はお風呂の当番をしていた先生が、みんなが入っている間に風呂場の前で密かにダンスの練習をしていました。練習の甲斐あり、堂々とセンターで踊っていました。

私がこの修学旅行で素晴らしいと感じたことは二つあります。

一つ目は生徒たちが決められた時間をしっかりと守れるということです。全ての行程で時間通りか、それよりも早く集合ができました。そのお陰で渋滞による時間ロスも回復できましたし、最終日の姫路セントラルパークの自由時間は1時間近く延ばすことが出来ました。集団行動で時間を守ることや全員の安否確認の速さが、自分たちの時間を確保することにつながるということがはっきりと分かったと思います。

二つ目はバスも夜のレクリエーションも内容が良かったというだけではなかったことです。観る人と演者が一体化して盛り上がる様子は、まるでコンサート会場に来ているかのようでした。互いが精一杯取り組み、認めあう姿に感動した一コマでした。

3年生が修学旅行で得たたくさんの学びをこれからの学校生活に活かして欲しいと思います。

「キャリア教育」

本校は、昨年これまでの職業体験を見直しました。新たな取り組みとして3年間を通して自らの進路を切り拓くためのキャリア教育へと舵を切りました。

現2年生は昨年度、藤井寺市内のフィールドワーク、今年度大阪市内で企業体験・見学、来年度修学旅行における他県の企業とのコラボ企画という一連の流れを総合学習の枠組みの中で計画してきました。次号では、先日2年生が行った「企業見学」について詳しくお伝えしたいと思います。

「大雨」

正門前の紫陽花が色鮮やかに咲いています。沖縄では梅雨が明けましたが、関西ではこれから本番です。大雨に警戒してください。

6月2日には藤井寺小学校や道明寺小学校に避難所が開設されました。しかし、本校は土地が低く浸水地域になっていますので大雨の時、避難所は開設されません。お知りおきいただき、危機に備えてください。